



## 日本海溝沿い巨大地震・大津波を仮想した災害対策本部・災害調査対応本部訓練を行いました（2022/12/7）

テーマ：災害対策本部、災害調査対応本部、日本海溝、地震、大津波、WEB 会議  
場所：災害科学国際研究所（仙台市青葉区）

12月7日（水）13時より、当研究所内において、日本海溝沿い青森県・岩手県沖で巨大地震と大津波が発生したとの想定で、災害対策本部及び災害調査対応本部の訓練を実施しました。「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震」については、昨年末に政府が被害想定を公表、本年3月に対策の報告書を公表、さらに、本年11月に「北海道・三陸沖後発地震注意情報ガイドライン」も公表しています。今回はこれらの発生に備えた訓練を行ったものです。

当研究所における両本部の訓練は7回目です。新型コロナ対策のためここ2年間はWEB会議方式での訓練としましたが、今回は当研究所1階の多目的ホールに集合して開催し、濃厚接触者や外出者も参加できるようWEB会議方式併用としました。訓練事務局は当研究所の消防・防災委員長の丸谷浩明教授（防災社会推進分野）の研究室及び事務部の用度係、総務係が務めました。

被害想定は、13時に青森県・岩手県沖の日本海溝沿いでマグニチュード9.1の海溝型地震が発生し、最大震度は6強、仙台市青葉区で震度5強を観測。大津波警報が東北、北海道、関東地方の太平洋沿岸に発令された、としました。また、5日前にマグニチュード7.2の地震がこの領域内で発生し、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発令されたことを前提にしました。ライフラインは、電力、インターネットは使用可能、携帯電話はややかかりにくいと想定しました。

地震発生直後に自衛消防隊が活動を開始し、13時15分に災害対策本部会議を開催、本部員が参集するとともに、所員全員が会場またはWEB会議で傍聴可能としました。並行して、所内の各研究室や事務室の教職員・学生に対する安否確認を在室で行いました（火災の発生なしの想定で建物が免振構造のため）。なお、安否確認の回答はWEBサイトに入力する方法を試行しました。

災害対策本部の会議内容は、次の通りでした。

- 状況付与に基づく各班長からの被害報告や安否の状況の報告
- 大学本部から求められた重大被害至急報告の記載内容決定（2名の軽症者の報告等）
- 災害研防災・業務継続計画（BCP）のポイントの簡潔な説明と確認
- 当日夜の対応に関する議論（学生、教職員をいつ帰宅させるか、誰が残るか、所員にどんな支援を行うかなど。本部メンバー内の議論の訓練）

続いて、14時から、当研究所が災害発生により緊急に調査等を行う必要性が生じた場合に設置する「災害調査対応本部」の訓練を、引き続き、多目的ホールにて行いました。同本部は、地震・地殻変動、津波調査、地震被害調査、地すべり・地盤災害、医療対応、情報分析、民間部門調査等の専門分野ごとの班によって構成されており、それぞれが仮想資料の発表を行いました。

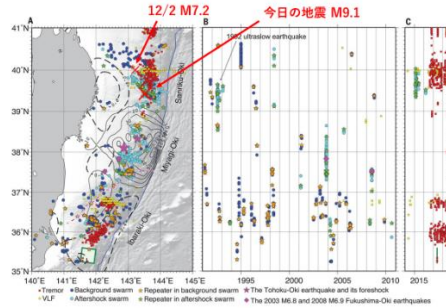
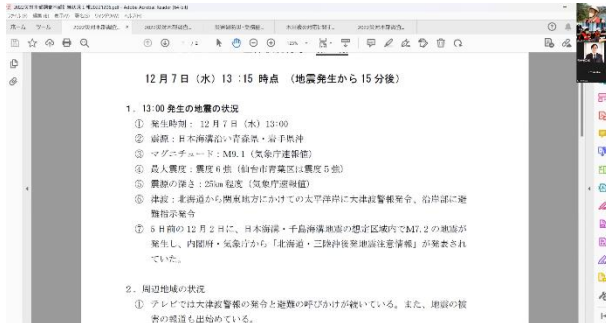
主な会議内容は次の通りでした。

- 各班から、地震、津波のデータ及び初期的分析の報告や、把握した各種被害の仮想の報告
- 現地調査の計画や見込み、対応の役割分担、学会調査との関係の整理の議論
- 現地調査に赴く場合の安全確保その他の留意事項の議論
- 今後の調査の対応方針の議論と所長からの次回会合の時間の指示

主な発表者は、福島洋准教授（陸域地震学・火山学研究分野）、サッパシー・アナワット准教授（津波工学研究分野）、森口周二准教授（計算安全工学研究分野）、佐々木宏之准教授（災害医療国際協力学分野、災害医学研究部門各分野作成資料の説明）、榎田竜太准教授（地震工学研究分野、同分野大野晋准教授作成資料の説明）でした。

今回の訓練では、大津波が発生する中で、津波専門家の今村文彦所長（津波工学研究分野）が災害対策本部から一時離れて津波対応を行うシナリオを含め、地震・津波発生時としてのシミュレーションが一定程度できたと考えています。また、安否確認のWEBサイト活用も42件の入力の問題なく実施できました。参加者のアンケート結果も踏まえ、今後も多様な訓練を進めていくこととしています。

文責：丸谷浩明（防災社会推進分野）  
（次頁へつづく）



(Nishikawa et al., 2019)

### 災害対策本部での状況付与 (事務局作成)

### 説明資料 (震源)

#### 訓練

13時30分 3m以上の津波観測  
1m以上 (気仙沼)



引用: 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル検討会の資料  
[https://www.bousai.go.jp/jshin/nihonkaiko\\_chishima/model/](https://www.bousai.go.jp/jshin/nihonkaiko_chishima/model/)

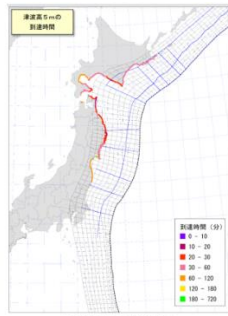
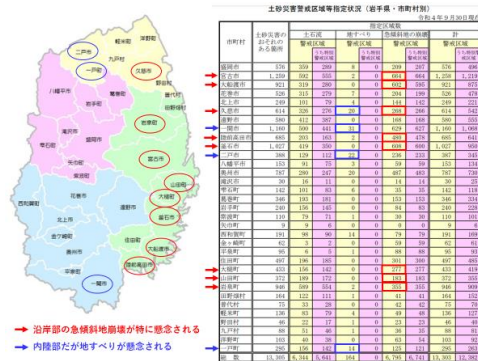


図: 日本海溝モデルの到達時間 (t+4 分)

### 説明資料 (津波)

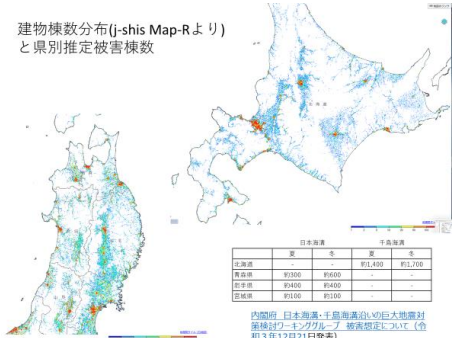


### 説明資料 (土砂災害・地盤災害)

### ○宮城県DMAT調整本部 (案) 災害医療国際協力学分野



### 説明資料 (災害医学)



### 説明資料 (建物被害推定)